

令和6年度

一般入学試験問題  
(進学科・衛生看護科)

国語

2月1日(木)

注意

- 1 監督の先生から、「始め」の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 この問題とは別に1枚の解答用紙があります。
- 3 問題用紙と解答用紙両方のきめられた欄に受験番号を記入しなさい。
- 4 **解答用紙の受験生シール貼付欄にシールを貼り付けなさい。**
- 5 机の上には、受験票・受験生シール・鉛筆・鉛筆けずり・シャープペンシル・消しゴム・定規以外のものをおいてはいけません。  
下敷きは、監督の先生の許可を受けてから使用しなさい。
- 6 筆記用具などの貸し借りをしてはいけません。
- 7 問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 8 印刷が悪くてわからないときや、筆記用具などを落としたときなどは、だまって手をあげて、監督の先生に知らせなさい。
- 9 監督の先生の「止め」という合図があったら、すぐに止めなさい。

答えの書き方

- 1 問題をよく読んでから答えなさい。答えは、すべて鉛筆またはシャープペンシルで解答用紙に記入しなさい。色鉛筆を使ってはいけません。
- 2 答えは、はっきりとていねいに書きなさい。なおすときは、きれいに消してから新しい答えを書きなさい。
- 3 メモには、問題用紙の空白を利用しなさい。

受験番号	
------	--

一、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文省略

【山極やまがわ 壽一じゅいち『共感革命』の文章による】

【注】

- 1…取っ組み合ったり離れたりして、激しく争うさま。
- 2…何かに乗り移ること。

問一 傍線の部分㉔㉕の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

問二 傍線の部分①とありますが、「共感力」は、どういう体験を経れば高められると筆者は考えていますか。次のア～エから最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 相手の能力や気持ちをわかつたうえで、あれこれ試行錯誤しながら相手に合わせようとする体験。
  - イ リーダーの動きに全員の動きを強制的に合わせて、一体感を出しながら全体が同調していく体験。
  - ウ 物語の主人公の出来事をまるで自分が経験したように感じて、その感情を他の人に表現する体験。
  - エ 身体と感情の動きを一致させつつ、お互いが意識して相手を深く理解して、ともに支え合う体験。
- 問三 傍線の部分②とありますが、筆者は「同情」が成り立つには、どういうことが必要だと述べていますか。そのことについて説明した次の文の書き出しと末尾につながるように、に当てはまる言葉を五十五字以内で書きなさい。

説明

相手に共鳴し相手の気持ちが変わるといふ「共感」を抱いたうえで、ということ。

問四 筆者は「コンパッション」とはどのようなものだと述べていますか。わかりやすく説明した部分を本文中から十五字以内で採し、そのまま抜き出して書きなさい。

問五 この文章で述べられている「共感力」に対する筆者の考えと合っているものはどれですか、次のア～エから適当なものをつ選び、記号で答えなさい。

- ア 赤ちゃんや幼児と、大人である自分との能力の差があることを理解したうえで、みんなで協力して、その成長を助ける経験を積むことにより共感力は向上する。
- イ 生徒一人一人が教室でパソコンと向き合い、画面越しにダンスや音楽などの映像を共有しながら気持ちを同調させる経験を積むことにより共感力は向上する。
- ウ 互いが理想的に支え合っている関係の中で、能力差を踏まえた役割を分担しながら皆が同じ活動に取り組み、助け合う経験を積むことにより共感力は向上する。
- エ 一つの場合で皆が活動して他者に共鳴していく中で、他の人との違いを理解して、どうすれば相手とうまく関われるかを学ぶ経験を積むことにより共感力は向上する。
- 問六 二重傍線の部分とありますが、筆者は本文より前の「第一章」で「視線共有」について次のように説明しています。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

本文省略

問い この文章より、人間だけが「視線共有」でき、「他人の気持ちを推測できる」理由がわかります。その理由を次の書き出しと末尾につながるように、に当てはまる言葉を六十字以内で書きなさい。

説明

人間だけが持つ白目によって、

から。

二、次の文章は、水野 瑠見るみの小説『十四歳日和』じゅうよっさいひよりの一部分である。中学二年生の田端 律りつは、親友の朱里あかりとアイドルグループ「リトル☆プリズム」の追加メンバー選抜オーディションを一緒に受けることにした。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

本文省略

【注】

1…より良く見せるために、おおげさに表現すること。

2…床材

3…落葉樹

問一 傍線の部分①②③の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

問二 傍線の部分①とありますが、それはなぜか。最も適当なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア おおげさにはしゃぐことでお互いの気分がさらに盛り上がり気分が上がるから。

イ 履歴書を盛っていくにつれ自分がどんどん素敵になったと錯覚し気分が高揚したから。

ウ リトプリの「オーディションに応募する」という非日常体験に気分が浮かれていたから。

エ 天下のリトプリのオーディションに二人で合格できることが嬉しくて気分が興奮したから。

問三 傍線の部分②とありますが、理由として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア オーディションに合格したことで、新しい自分に生まれ変わり、輝く未来を想像しながら希望に満ちた気持ちで見ているから。

イ 夏の盛りが終わり、秋晴れのさわやかな陽光の下、空気が澄みわたる朝の時間帯は、植物の色が最も鮮やかに見えるから。

ウ 教室までの廊下でふと見た中庭の景色に秋の訪れを感じ、新しい季節の到来に気づいた自分の繊細な感覚にうっとりしたから。

エ 新しい一日が始まり、今日はどんな楽しい出来事が自分を待っているのだろうと、わくわくして胸を踊らせていたから。

問四 傍線の部分③とありますが、「律」はなぜ事実と違うことを述べたのか。五十五字以内で説明しなさい。

問五 傍線の部分④から読みとれる二重の意味の「後ろめたさ」について、次の文の末尾表現につながるように、に当てはまる言

葉をそれぞれ十五字以内で書きなさい。

・  後ろめたさ。

・  後ろめたさ。

三、次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

そこつなる若衆、餅をアまゐるとて物数を心がけ、あまりふためひて、<sup>①</sup>のどにつまる。人々笑止がりて薬をまゐらせても、この餅通らず。<sup>②</sup>「なにか」といふうちに、天下一のまじなひてを呼びければ、やがてまじなふて、そのままちりげもとを一つ叩きければ、りうのごごとくなる餅、三間あまり先へ飛んで出る。みな人々これを見て、「さてもめでたい事じや。このまじない、<sup>③</sup>ちと遅くは、危なかつたが、さりとては天下一ほどある。」といへば、若衆聞きて、「さのみ名人にてはない。あつたら物を内へ入るイやうにしてこそ天下一よ。」と言はれた。

【『きのふはけふの物語』の文章による】

【注】そこつなる若衆…そそつかしい若者

まゐるとて…食べるとして

ふためひて…あわてふためひて

笑止がりて薬をまゐらせても…気の毒に思つて薬を飲ませても

天下一のまじなひて…天下一の祈とう師。当時は祈つて病苦を治した。

ちりげもと…首筋

りうのごごとくなる餅…細長く中がくびれた形になった餅

三間…五メートル四十センチほど

さのみ名人にてはない…必ずしも名人とは言えない

問一 傍線の部分ア・イを現代仮名遣いに直しなさい。

問二 傍線の部分①の理由として最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 人々が面白がって、早く食べると大食いの若衆をはやしたてていたため。

イ 餅が古くかたくなっていることに気づかずに一気に多くを食べたため。

ウ 数多く食べることを心がけていたが、余ったものまで無理に食べたため。

エ 若衆はひどい食いしん坊で、あわてて大量の餅を一度に口にしていたため。

問三 傍線の部分②とありますが、「なにか」の内容の説明として最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 人々が何があったのかと、不思議がったということ。

イ 人々がどうしようかと、とまどっていたということ。

ウ 若衆が「もうだめだ」と叫んだということ。

エ 若衆が「助けてくれ」と心の中で願ったということ。

問四 傍線の部分③は「少しでも遅かったら、危なかった」という意味です。同様に、「事態が切迫して少しもゆとりがない」状態を示す慣

用句として「間髪入れず」があります。この言葉の由来は、あるエピソードの中で、物が出ているか出ていないかの差がごくわずかである

ため、「間に髪を容れず」と表現したことによります。これを参考に、解答欄の「間 不 容 髪。」に返り点と送り仮名を書きなさい。

問五 「天下第一のまじなひて」と判断する基準には、人々と若衆の間では違いがあります。その違いの説明として、次の空欄A・Bに当ては

まる言葉として適当なものを、それぞれ二十五字以内で書きなさい。

人々は、

A
---

ができる人を「天下第一のまじなひて」の基準としたが、

若衆は、

B
---

ができる人を「天下第一のまじなひて」の基準とした違い。